

### (3)種類別明細書(増加資産・全資産用)の記入例

◎次の資産を記入してください。

- 令和7年1月2日から令和8年1月1日までに取得した資産
- 前年前に取得した資産で新たに申告されることとなった資産(移動・申告漏れ等)
- はじめて申告される方は令和8年1月1日現在の全資産

※摘要欄には、課税標準の特例等、取得した資産の説明を必要とする場合に記入してください。

### ■記入上の注意■

#### ① 所有者コード

・前年度までに申告された方は必ず記入してください。

#### ② 資産の種類

・資産の種類ごとに番号を記入してください。

(1)構築物 (2)機械及び装置 (3)船舶  
(4)航空機 (5)車両及び運搬具 (6)工具・器具及び備品

#### ③ 資産の名称等

・製粉機、温水機等の具体的な資産の名称を左づめで記入してください。

#### ④ 数 量

・資産の数量等を記入し、一式等の場合は「1」と記入してください。

#### ⑤ 取得年月

・資産を取得した年月、自家製のものは製作した年月を記入し、年号については、昭和は「3」、平成は「4」、令和は「5」と記入してください。

#### ⑥ 取得価額

・資産を実際に購入した価格(据付費・輸送費等を含む)を記入してください。

#### ⑦ 耐用年数

・耐用年数省令に定める耐用年数もしくは見積耐用年数のうち、事業所が実際に使用されているものを記入してください。

#### ⑧ 増加事由

・該当する事由に○印をつけてください。

新品取得・・・1 中古品取得・・・2

移動による受入れ・・・3 その他・・・4

令和 年度		所有者コード		※		種類別明細書(増加資産・全資産用)										所有者名			1枚のうち	
1234567		①				④		⑤		⑥		⑦		⑧		⑧		1枚目		
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	課税標準の特例率	課税標準額	増加事由	摘要							
1	1		コンクリート舗装	1	5 4 09	1500 000	15	0.929				1-2								
2	2		受変電設備	1	5 4 04	2500 000	15	0.929				1-2								
3	2		機械プレス	1	5 4 05	1500 000	8	0.875				1-2								
4	6		パソコン	1	5 4 05	800 000	4	0.781				1-2	×	×	より					
5	6		コピー機	1	5 3 12	1000 000	5	0.631				1-2	申告							
6												1-2								
7												1-2								
8												1-2								
9												1-2								
10												1-2								
11												1-2								
12												1-2								
13												1-2								
14												1-2								
15												1-2								
16												1-2								
17												1-2								
18												1-2								
19												1-2								
20												1-2								
小計				5		7 300 000														

注意 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他のいずれかに○印を付けてください。

・これらの欄は記入の必要はありません。  
・ただし、自社電算申告の場合は記入してください。

## ■記入上の注意■

## 一部減少について

・所有資産のうち、一部分が減少した場合は、償却資産種類別明細書の品名を抹消し、残りの資産は種類別明細書(増加資産・全資産用)に新たに記入してください。

※減少資産とは、償却資産を売却、廃棄などによって形状がなくなったものをいいます。

・所有資産のうち、一部分が減少した場合は、償却資産種類別明細書の品名を抹消し、残りの資産は種類別明細書(増加資産・全資産用)に新たに記入してください。

氏名又は名称 (株)白井

( 白 井 市 )